

三菱総合研究所でのインターンシップを終えて

物理工学専攻 博士2年 森近一貴

ALPS コースワークの一環として、2018年12月17日から五日間、三菱総合研究所の冬季インターンシップに参加しました。三菱総合研究所は、日本を代表する総合シンクタンクの一つであり、科学技術に強い（社員の8割が理系出身）という特徴を持つ企業です。

今回のインターンシップでは、私は研究開発部門に配属され、「社会課題を解決するビジネスモデルの考案」という題目でグループワークを行いました。私のグループは、「需要増加に物流キャパシティが追いつかない」という社会課題を解決するビジネスモデルの考案に取り組みました。様々なバックグラウンドを持った人達が集まり、世の中にある様々な科学技術を駆使し、共通の目的（プロジェクト）を達成するために試行錯誤することに面白さを感じました。また、社会課題を解決するだけでなく、それをビジネスモデルとして収益に結びつけなければならないというところに難しさを感じました。今回のインターンシップは、普段あまり感じられない科学技術と社会の接点を知ることができ、私の今後のキャリアを考える上でも大変有意義なものになったと思います。

最後に、受入れてくださった三菱総合研究所、特に研究開発部門の岡田様、澤部様、奥村様に厚く御礼申し上げます。また、インターンシップ参加を承諾してくださった指導教員の芦原先生、副指導教員の小芦先生、ALPS関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。